

## 平成29年第6回函館市教育委員会定例会 会議録

- 1 日 時 平成29年6月28日（水） 午後1時30分
- 2 場 所 教育委員室
- 3 出席者 辻教育長，藤井委員，小葉松委員，須田委員，青田委員
- 4 欠席者
- 5 事務局 小林生涯学習部長，木村学校教育部長，佐藤生涯学習部次長，  
鶴喰生涯学習部次長，阿部管理課長
- 6 傍聴者 なし

### 7 付議事項

- 日程第1 議案第1号 市立函館高等学校学則の一部改正に関し，議決を求めることについて
- 日程第2 議案第2号 函館市学校教育審議会委員の解嘱に関し，議決を求めることについて
- 議案第3号 函館市学校教育審議会委員の委嘱に関し，議決を求めることについて

#### ■辻教育長

- 開会宣言 午後1時30分
- 議事録署名人に，藤井委員，小葉松委員を選任。
- それでは，日程第1，議案第1号「市立函館高等学校学則の一部改正に関し，議決を求めることについて」を諮る。

#### ■学校教育部長

- 議案第1号「市立函館高等学校学則の一部改正に関し，議決を求めることについて」説明する。
- 本議案については，平成27年8月18日開催の教育委員会定例会において可決された「市立函館高等学校の学級数（定員）に係る方針」により，平成30年度から募集学級数を2学級減の6学級，定員を240名とすることから，生徒の定員を変更するものである。
- なお，この規則の施行期日は，平成30年4月1日とするものである。

#### ■辻教育長

- 議案第1号について，何かあるか。

#### ■小葉松委員

- 間口減になっても，今までどおり単位制を継続というふうに理解していいのか。

■学校教育部長

- はい。

■小葉松委員

- 大変ではないのか。生徒の数が減って、今、結構いろいろなバリエーションに富んだ学習が出来るようになってきているところが、出来なくなるような弊害は予測されているのか。

■学校教育部長

- 初年度は、新1年生が2学級減、また教員数も若干減るものであるが、学校長とも工夫をし、出来る範囲で講座開設をするという形で、単位制を軸にしているところである。

■教育長

- 議案第1号については、原案のとおり決定する。
- 次に、日程第2、議案第2号、「函館市学校教育審議会委員の解嘱に関し、議決を求めることについて」および議案第3号、「函館市学校教育審議会委員の委嘱に関し、議決を求めることについて」を一括諮る。

■学校教育部長

- 議案第2号および議案第3号について、順次、説明する。
- まず、議案第2号「函館市学校教育審議会委員の解嘱に関し、議決を求めることについて」であるが、推薦団体からの申し出により、東敬夫氏ほか5名を、平成29年6月28日をもって、解嘱しようとするものである。
- 次に、議案第3号「函館市学校教育審議会委員の委嘱に関し、議決を求めることについて」であるが、解嘱委員の後任として、推薦団体からの推薦に伴い、竹内岳氏ほか5名を、本日より前任者の残任期間である、平成29年8月31日まで、委嘱しようとするものである。

■辻教育長

- 議案第2号および議案第3号について、何かあるか。

■小葉松委員

- 新委員について、同じ学校から2名出ているが、こういうことはよくあるのか。一般的には別の学校から出てくるのが多いのではないか。

■青田委員

- 普通はバラバラだが、審議会は出番が多く、意向確認の際に承諾できる方が少ないので、2人になったのではないか。

■学校教育部長

- 青田委員のお話ししたことのほかに，現在は再編が主な審議内容であり，再編に直接関わらない学校の保護者ということで，段々候補者が絞られてきていることもある。

■辻教育長

- 議案第2号および議案第3号については，原案のとおり決定する。

■終了宣言

- 午後2時35分

議事録署名人 藤井 壽夫

〃 小葉松 洋子

調製者庶務係 奥ヶ谷 貴史